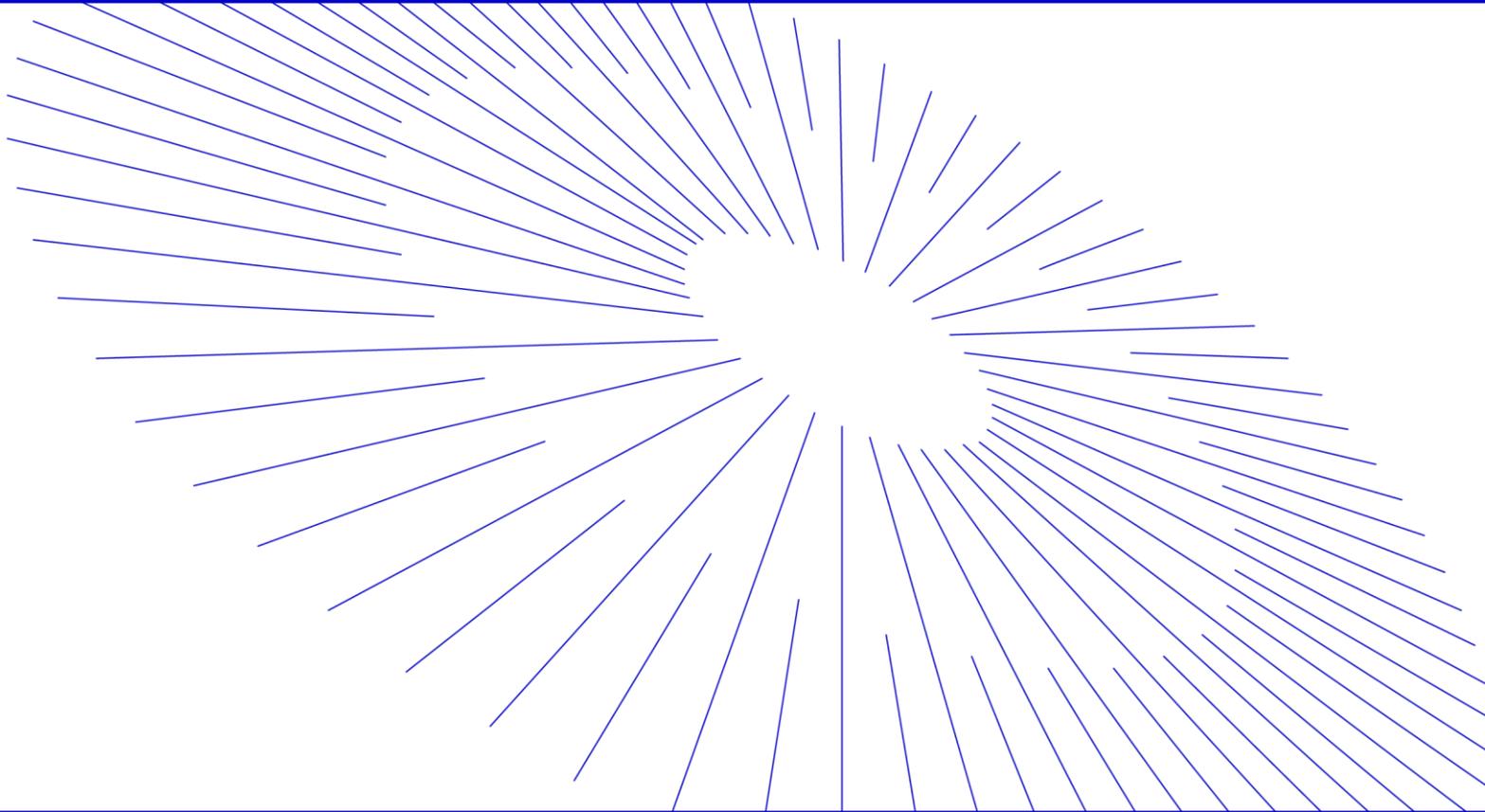


Smart Construction Quick3D

2023.02.08(予定)リリース版について



EARTHRAIN

- Smart Construction Quick3Dのアップデートについて、以下の日程・内容にてリリースを致します。
- モバイルアプリ：アプリの自動アップデートをONにしていない場合は、App-Storeにて手動でアップデートしてください。
- Webアプリ：本リリース内容については自動的にアップデートされ、ご利用者並びにご利用中のデータにも影響はございません。

NO.	現行最新	今回リリース
モバイル	Ver1.22	Ver1.30
WEB	Ver1.21	Ver1.30

日程：日本時間 2月8日(水)(予定) 20:00~24:00(リリース作業中には、一時的にアプリが使えなくなります。)

NO.	対象機能	概要	詳細
1	計測機能 New	新機能追加です。 Smart Construction Quick3Dにて、下記計測機能を追加します。 ①体積計測 ②平面積計測 ③Surface距離計測	WEBアプリとモバイルアプリに、下記機能が追加されます。 操作方法等の詳細は、リリース時に ユーザーガイド を更新致しますので、そちらを参照下さい。 追加機能 ①体積計測：任意に選択した個所の点群が成す体積を計測します。 ②平面積計測：任意に選択した範囲(選択した点を結んだ面)の面積を計測します。 ③Surface距離計測：任意に選択した点間を、点群表面に沿って結んだ線の長さを計測します。
2	検索機能	機能改善です。 撮影者でのソート機能の搭載場所を変えました。	左記の通りです。詳細はP4を参照願います。
3	座標変換機能	機能改善です。 座標変換時の操作性を改善しました。	座標変換を実施した際に、ファイル容量が大きな点群だと、変換計算と点群読込時間が非常に長くなる場合があります。そこで、読込時間上限を3分とし、3分を超えた場合にはメッセージと共にバックグラウンドでの変換計算処理に移るようにすることで、操作をわかりやすくしました。(詳細はP5を参照願います)
4	点群表示機能	機能改善です。 点群表示の読込速度を改善しました。	点群の読込方法を変更することで、読込速度を改善しました。
5	写真ダウンロード機能	不具合対策です。 撮影した写真をダウンロードできないというケースがまれに発生していました。当該不具合対策を実施し、改善しました。	左記の通りです。

WEBアプリとモバイルアプリに、下記機能が追加されます。
 操作方法等の詳細は、リリース時に[ユーザーガイド](#)を更新致しますので、そちらをご参照願います。

追加機能

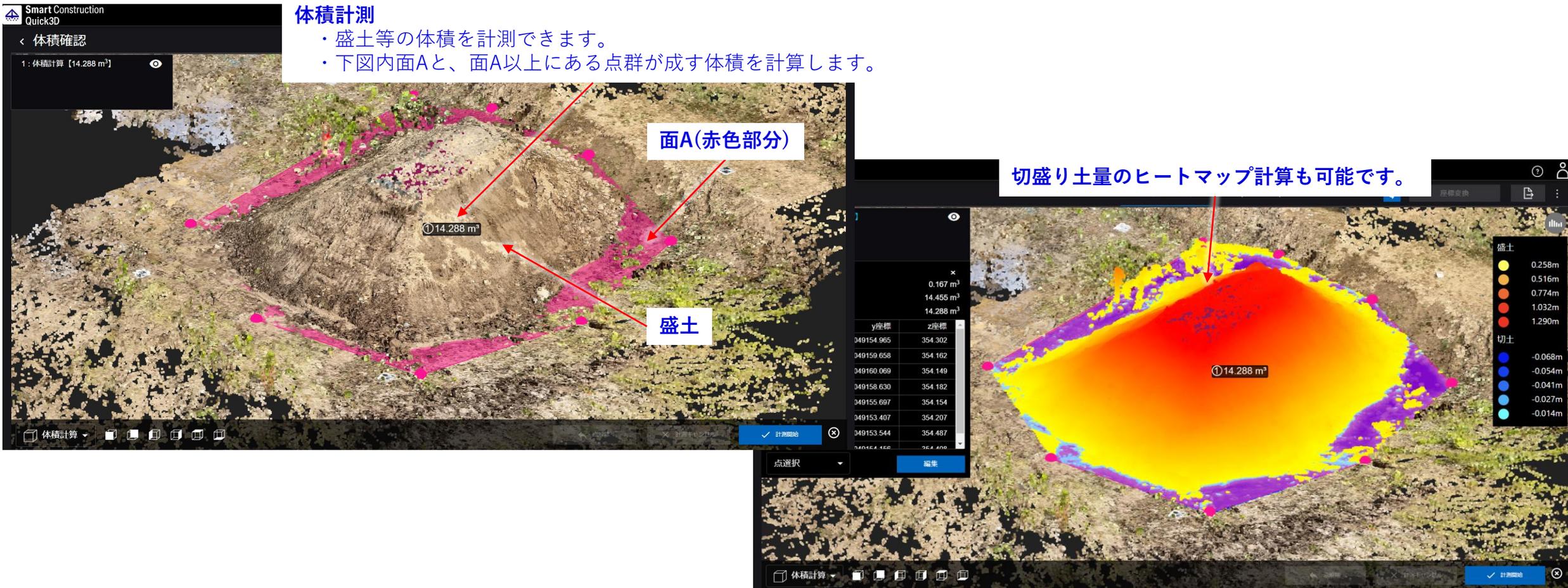
①体積計測：任意に選択した個所の点群が成す体積を計測します。

(注) 当該アップデート後に、PiX4DcatchからSC Quick3Dへアップロードしたデータのみで有効です。

それ以前にアップロードした点群データではご利用頂くことができません。

体積計測

- ・盛土等の体積を計測できます。
- ・下図内面Aと、面A以上にある点群が成す体積を計算します。



x	y座標	z座標
0.167 m³	349154.965	354.302
14.455 m³	349159.658	354.162
14.288 m³	349160.069	354.149
	349158.630	354.182
	349155.097	354.154
	349153.407	354.207
	349153.544	354.487
	349154.152	354.409

切盛り土量のヒートマップ計算も可能です。

WEBアプリとモバイルアプリに、下記機能が追加されます。

操作方法等の詳細は、リリース時に[ユーザーガイド](#)を更新致しますので、そちらをご参照願います。

追加機能

- ②平面積計測：任意に選択した範囲(選択した点を結んだ面)の面積を計測します。
- ③Surface距離計測：任意に選択した点間を、点群表面に沿って結んだ線の長さを計測します。



撮影者別でのソート検索機能を、現場等でのフィルタリング操作ダイアログ内に統合しました。



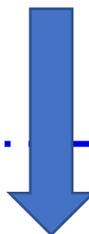
撮影者別でのソート検索機能

旧

(モバイル : Ver1.22)

(WEB : Ver1.21)

クリックorタップで表示



撮影者別でのソート検索機能

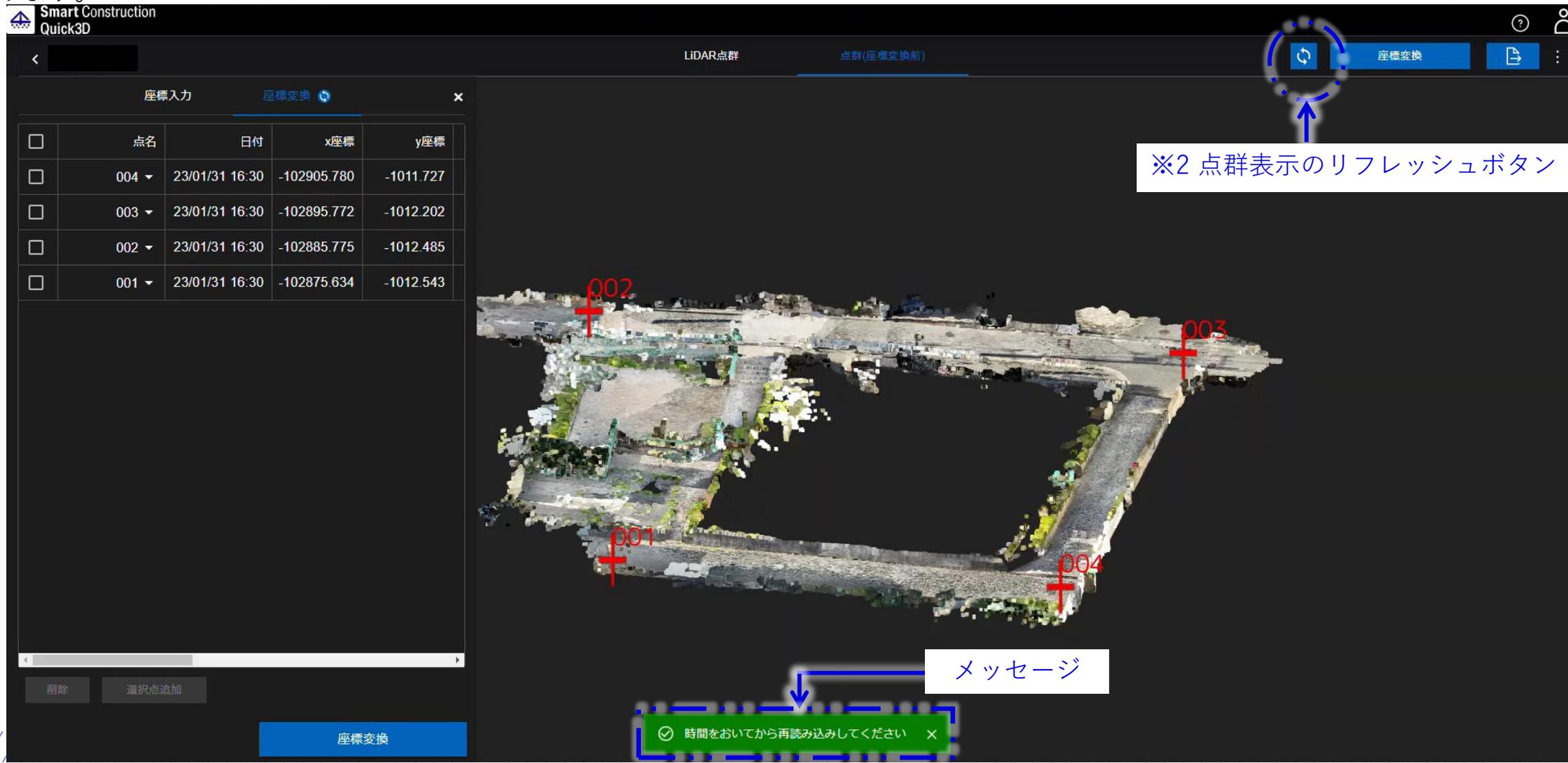
新

(モバイル : Ver1.30)

(WEB : Ver1.30)

クリックorタップで表示

座標変換を実施した際に、ファイル容量が大きな点群だと、変換計算と点群読込時間が非常に長くなる場合があります。そこで、読込時間上限を3分とし、3分を超えた場合にはメッセージ(下図※1)と共にバックグラウンドでの変換計算処理に移るようにすることで、操作をわかりやすくしました。当該メッセージが表示された後は、時間をおいてから、今回新たに搭載したリフレッシュボタン(下図※2)を押していただくことで、座標変換後の点群読込が可能となります。



The screenshot shows the Smart Construction Quick3D interface. On the left, there is a table for coordinate conversion. The main area displays a 3D point cloud of a building site with four red crosshair markers labeled 001, 002, 003, and 004. A message box at the bottom indicates a timeout, and a refresh button is highlighted in the top right corner.

座標入力	座標変換			
<input type="checkbox"/>	点名	日付	x座標	y座標
<input type="checkbox"/>	004	23/01/31 16:30	-102905.780	-1011.727
<input type="checkbox"/>	003	23/01/31 16:30	-102895.772	-1012.202
<input type="checkbox"/>	002	23/01/31 16:30	-102885.775	-1012.485
<input type="checkbox"/>	001	23/01/31 16:30	-102875.634	-1012.543

※2 点群表示のリフレッシュボタン

メッセージ

時間をおいてから再読み込みしてください

